

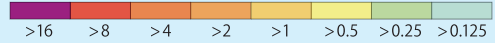
福島第一原発事故の放射能汚染地図

Radiation Contour Map of the Fukushima Daiichi accident

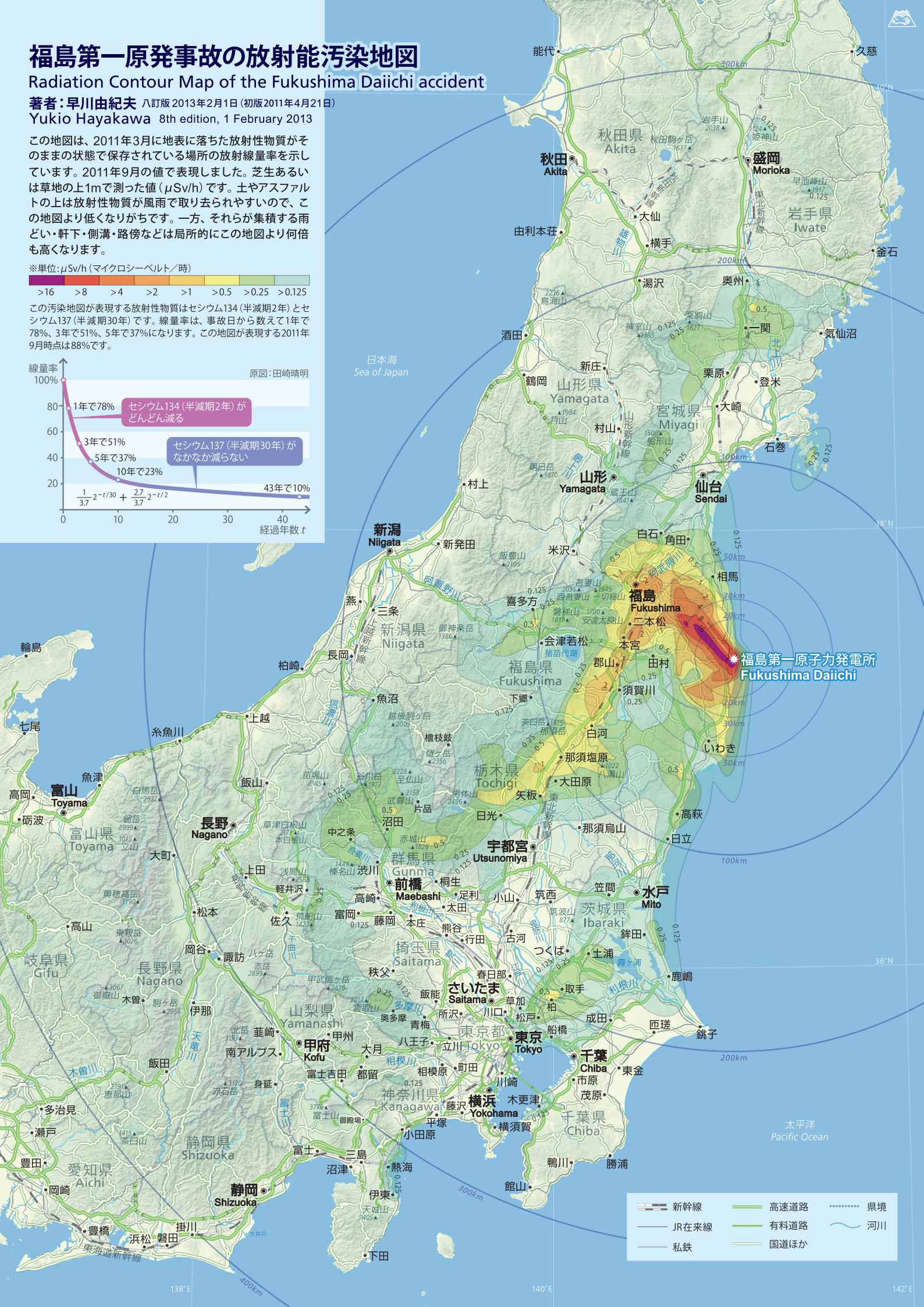
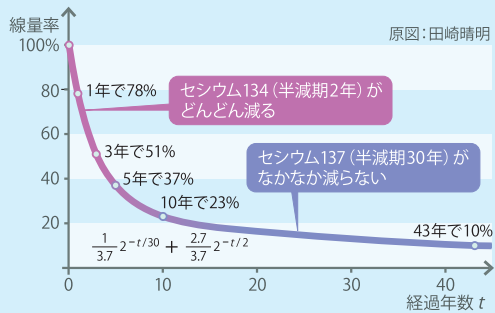
著者: 早川由紀夫 八訂版 2013年2月1日 (初版2011年4月21日)
 Yukio Hayakawa 8th edition, 1 February 2013

この地図は、2011年3月に地表に落ちた放射性物質がそのままの状態で見られる場所の放射線量率を示しています。2011年9月の値で表現しました。芝生あるいは草地の上1mで測った値(μSv/h)です。土やアスファルトの上は放射性物質が風雨で取り去られやすいので、この地図より低くなりがちです。一方、それらが集積する雨どい・軒下・側溝・路傍などは局所的にこの地図より何倍も高くなります。

※単位: μSv/h (マイクロシーベルト/時)



この汚染地図が表現する放射性物質はセシウム134 (半減期2年)とセシウム137 (半減期30年)です。線量率は、事故日から数えて1年で78%、3年で51%、5年で37%になります。この地図が表現する2011年9月時点は88%です。



2011年4月のセシウム137降下量 Cs137 Fallout of April 2011

大量のセシウムが2011年3月に原発から出たが、遠隔地では観測されなかった。翌4月は風向きの関係で、少量ながらも日本各地で観測された。

資料：文部科学省「環境放射能水準調査結果（月間降下物）」
（2011年7月発表、2011年12月14日修正）

単位：Bq/m²

